

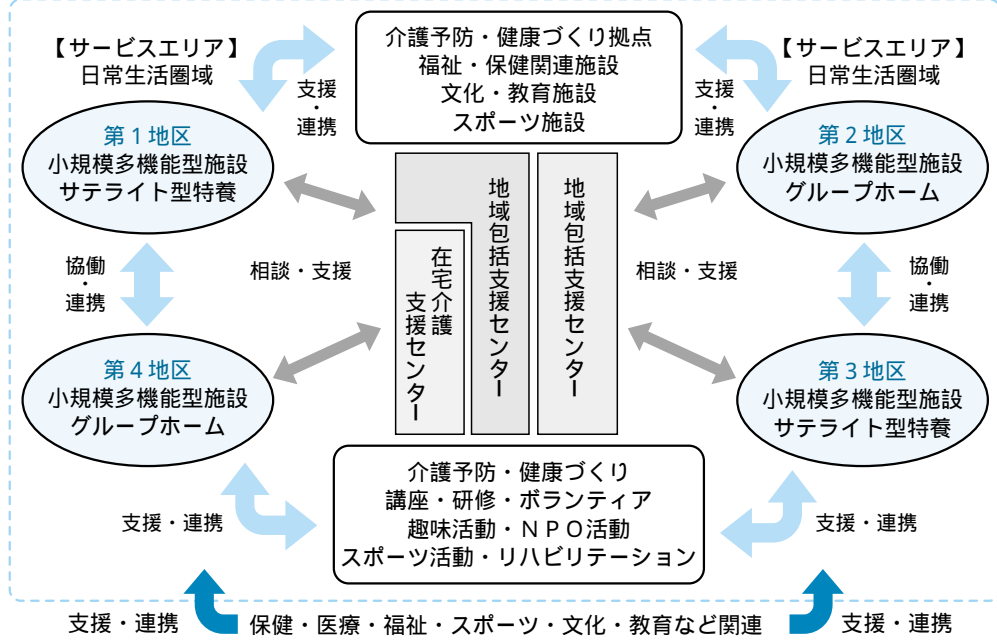
市の花  
「梨」



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>  
携帯電話版 <http://www.city.inagi.tokyo.jp/i/>  
(左のバーコードを読み取り機能付き携帯電話で読み取ってください)

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 図042-377-4781

図表1 介護のまちづくり地域ケアシステム構想の推進体制



市では、18年3月に策定した稲城市介護保険事業計画(第3期)の計画期間終了にあたり、これまでの取り組みについて検証し、今後の課題を改めて検討したうえで、解決に向けて取り組むべき施策を位置づけるものとして、稲城市介護保険事業計画(第4期)を策定しました。ここではその一部を紹介いたします。事業計画は市ホームページの他、市役所・各図書館でこ

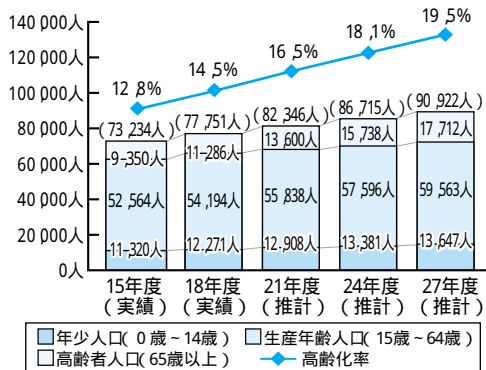
## 稲城市介護保険事業計画(第4期)の策定

▽問い合わせ 高齢福祉課介護保険係

見ただけです。

福祉など多職種の連携による包括的な地域ケアの仕組みをつくりたい。

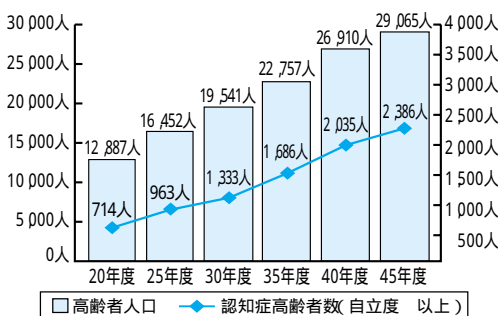
図表2 市の年齢3区分別推計人口と高齢化率



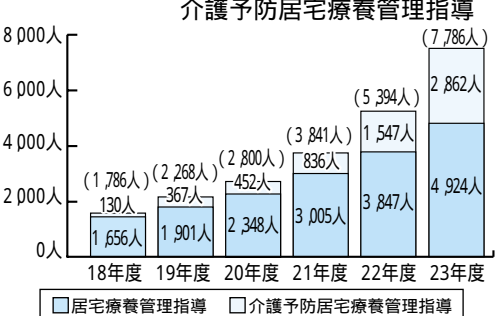
図表3 認知症高齢者の自立度判定基準

自立度	判定基準
	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。
	日常生活に支障を来すような症状、行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
	ランクの症状がときどき見られ、介護を必要とする(徘徊、失禁など)。
	ランクの症状が頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や問題行動あるいは、重篤な身体疾患が見られ専門医療を要する。

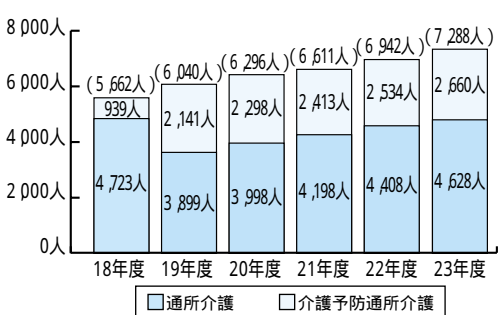
図表4 稲城市の認知症高齢者数の推計



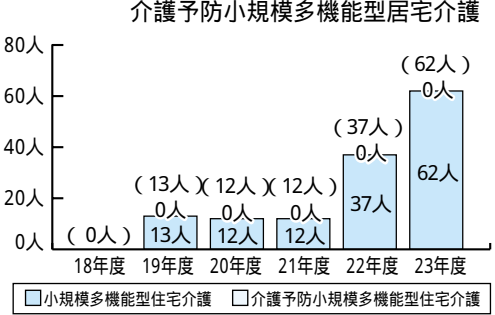
図表5 居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導



図表6 通所介護・介護予防通所介護



図表7 小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護



図表8 所得段階別年額・月額保険料額

所得段階	保険料算出方法	対象	保険料額(年額)	保険料額(月額)
第1段階	基準額×0.5	高齢福祉年金の受給者で、本人及び世帯全員が住民税非課税の方 生活保護の受給者 中国残留邦人等支援給付の受給者	26,400円	2,200円
第2段階	基準額×0.5	本人及び世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の方	26,400円	2,200円
第3段階	基準額×0.75	本人及び世帯全員が住民税非課税で、第2段階以外の方	39,600円	3,300円
特例	基準額×0.875	本人が住民税非課税(世帯内に住民税課税者がいる場合)で、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の方	46,200円	3,850円
第4段階	基準額×1.00	本人が住民税非課税(世帯内に住民税課税者がいる場合)で、特例第4段階以外の方	52,800円	4,400円
第5段階	基準額×1.125	本人が住民税課税で、合計所得金額が125万円未満の方	59,400円	4,950円
第6段階	基準額×1.25	本人が住民税課税で、合計所得金額が125万円以上200万円未満の方	66,000円	5,500円
第7段階	基準額×1.50	本人が住民税課税で、合計所得金額が200万円以上の方	79,200円	6,600円

稲城市認知症高齢者人口推計シートでは、高齢者人口が20年度の1万2887人に対し、25年度の45年度で2万9065人と、約2.26倍に増加するものと見込んでいます。45年度の認知症高齢者数を20年度と比較すると、自立度以上では3.34倍と、3倍以上の増加が見込まれます。高齢者人口に対する認知症高齢者数の割合は、自立度以上では5.5%(20年度から8.2%(45年度)になるものと予測されます。

居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導は、とも引き続き介護予防の中心となる見込みです。通所介護・介護予防通所介護は、18年度から19年度にかけて2倍以上に伸びています。通所介護保険料は実質8段階に区分し、基準額は第3期事業計画同様4400円となります。

また、本人が住民税課税で、合計所得金額が125万円未満の方については、第5段階と満の方については、第5段階として、保険料の軽減を図りました。

なお、第4期事業計画からは、従来の保険料第4段階本人が住民税非課税で、世帯内に住民税課税者がいる場合)のうち、本人の合計所得金額と課税年金収入額の合計が80万円以下の方については、特例第4段階として、保険料の軽減を図りました。

表 介護予防のプログラム

生活機能の低下が見られる方が対象となる事業

事業名	内容	利用回数・期間	実施場所	所在地
筋力向上トレーニング	高齢者向けのマシンを使用した筋トレを行います。その他に、身体状況に応じたプログラムを作成し、生活機能の向上に取り組みます。	週2回 (全28回)	ヒルトップロマン	若葉台3-7-1
			ハーモニー松葉	矢野口1806
閉じこもりや筋力低下の予防	介護予防を行う場所が近くない方や外に出る機会の少ない方を対象に、体操や生きがい活動を行います。	週1回・6カ月	いなぎ正吉苑	平尾1127-1
			いなぎ苑	百村255
転倒骨折や筋力低下の予防	転倒による骨折や筋力低下を予防するための体操を中心に、口腔機能の向上などにも取り組みます。実施場所により、内容は一部異なります。	週1回・6カ月	福祉センター	百村7
			ハーモニー松葉	矢野口1806
			押立の家	押立728-8
もの忘れや閉じこもりの予防	脳を活性化させるための活動を中心に体操なども行います。	週1回・6カ月	アクアメイト稲城	向陽台6-8
			平尾小学校(ふれあいセンター内)	平尾3-1-3
			ふれあい広場ポーの木	向陽台5-10 リベレ向陽台3-104

どなたでも参加できる事業

地域展開型 転倒骨折予防教室	セラバンドを使用した筋トレや、バランス・柔軟性などを高める運動を行うことで、転倒しにくい体作りを行います。広報いなぎでお知らせする保健センターでのコースのほか、15人程度のグループに対して講師派遣を行うコースもあります。	週1回 (全10回)	保健センター、市内各所	百村112-1ほか
-------------------	--	---------------	-------------	-----------

図 生活機能評価の流れ

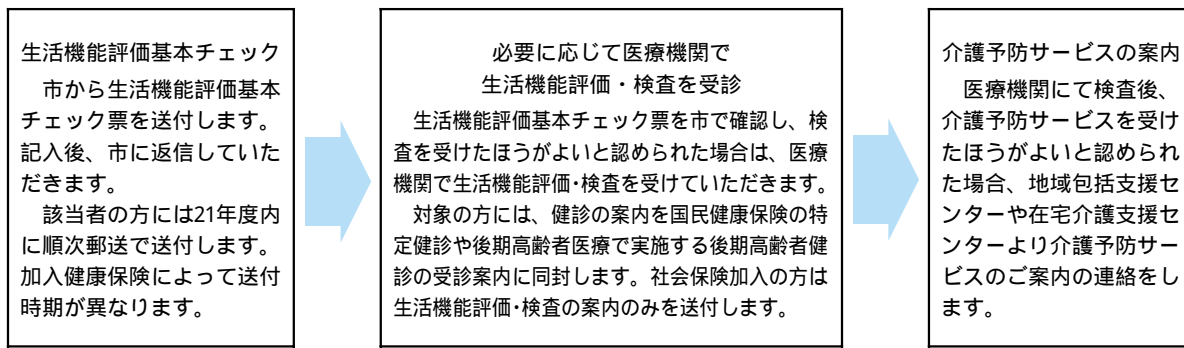


表1 介護支援ボランティアの活動範囲について、今後拡大したほうがよいと思うものはどれですか。(いくつでも回答可)有効回答数208人

ごみ出しなどの在宅高齢者の方へのちょっとした支援	115人	55.3%
市外の介護施設での活動	17人	8.2%
介護支援以外(例:子育てや障害者支援)の活動	57人	27.4%
その他	11人	5.3%

その他は、今までのまま。ひとり暮らし病人・高齢者の安否確認。蛍光灯交換など。粗大ごみ出し。市立病院での活動。パソコンなど。

表2 介護支援ボランティア活動として、この活動を始める前と現在では、健康面や精神面に変化はありましたか。(いくつでも回答可)有効回答数187人

張り合いが出てきた	96人	51.3%
健康になったと思う	29人	15.5%
変わらない	68人	36.4%
体調をくずした	3人	1.6%
その他	14人	7.5%

その他は、友達ができてよかったなど。

表3 介護支援ボランティア制度について、どのように思いますか。(ひとつのみ回答)有効回答数187人

良い制度だと思う	145人	77.5%
普通の制度だと思う	8人	4.3%
見直しが必要だと思う	19人	10.2%
その他	2人	1.0%
無回答	13人	7.0%

19年9月から全国に先駆けて介護支援ボランティア制度を開始しました。開始当初から注目され、新聞・テレビ・ラジオなどで紹介されたり、全国各地の議員、行政職員や学生など100を超える団体が、この制度の視察のため、当市を訪れています。今では、全国7都道府県の十数カ所の市町村で実施され、全国的な広がりを見せています。

調査結果については、「稲城市介護支援ボランティア制度実施報告書」本格実施後の運用状況について、に掲載されています。ホームページ、市役所情報公開コーナー、各図書館でご覧いただけます。

活動範囲の拡大について(表1参照)過半数の登録者が、ごみ出しなどの在宅高齢者の方へのちょっとした支援の拡大を希望しています。



## 稲城発 新しい介護予防事業 介護支援ボランティア

問い合わせ 高齢福祉課介護保険係

介護支援ボランティア登録者アンケート  
市内300人近くの高齢の方が介護支援ボランティアの登録をし、市内の介護施設など18機関で介護支援ボランティアとして活動していただいています。

この登録者の方々の対象に21年1月に活動の状況やこの制度に対する感想・要望などについてのアンケート調査を実施しました。結果の一部を紹介します。

健康観の変化(表2参照)張り合いが出てきたとの回答が過半数。平成20年に実施したアンケート結果とほぼ同じ傾向を示しています。

制度の評価(表3参照)良い制度だと思うとの回答が8割近くあり、平成20年実施のアンケート結果(70.5%)と比べ上昇しています。

介護支援ボランティアで「元気の輪を広げよう」  
平成18年に稲城市が「(仮称)介護支援ボランティア特区」の提案をし、この提案を契機に19年5月に介護予防事業として実施することが認められました。

稲城市介護予防事業は、サッカーJチーム東京ヴェルディの応援を受けています。

## いつまでもイキイキ生活 介護予防のまちづくり

▽問い合わせ 高齢福祉課地域支援係

いつまでもイキイキと自分らしく生きること、それを実現するための手立てが「介護予防」です。病気の予防だけ

ます。現在生活するうえで、何らかの支障があったとしても、「介護予防」によって元気を取り戻すことができることも分かっています。

市では、「介護予防」を推進しています。今回は、どのような方が介護予防に取り組みやすいのか、どのような介護予防のプログラムがあるか紹介します(左表参照)。

実施します  
「生活機能評価」(左図参照)  
市内在住の65歳以上の方(要支援・要介護認定を受けている方を除く)を対象に、生活機能評価の健診を実施します。この健診は、自分で気づきにくい虚弱や閉じこもりなど、これからこうした症状になりやすい危険性を早期に発見するもので、加齢に伴う生活機能低下の有無を確認できます。ぜひこの機会に受診しましょう。